

災害拠点建築物の設計ガイドライン（国総研2018）を参考に、以下のように飛来物対策を整理

施設・建物分類	対象となる台風等のレベル 建築物に要求される性能	窓に要求される性能	主な建物構造	窓の飛来物対策（○適、△条件により適）	
				シャッター等	ガラス
				窓シャッター、雨戸	防災安全合わせガラス
災害拠点施設 （庁舎、病院、消防署等）	極めて稀に生じる台風 人命の安全、施設の機能継続	窓が損傷しない	RC、鉄骨	-	○
避難所（1）学校	極めて稀に生じる台風 人命の安全、（施設の機能継続）			△	○
避難所（2）体育館				△	○
避難所（3）公民館、集会所等				○	○
不特定多数の集まる施設 （大規模店舗、ホテル等）	稀に生じる台風 人命の安全	最低限：飛来物が貫通しない ガラスが飛散しない 理想：窓が損傷しない	RC、鉄骨	-	○
オフィスビル				-	○
中高層集合住宅				△ （低層階のみ）	○
小規模店舗				-	○
低層アパート			軽量鉄骨	○	○
				○	○
戸建住宅			プレハブ、木造	○	○